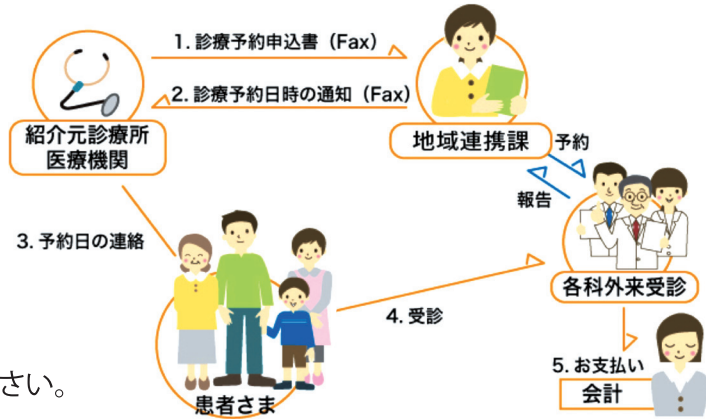


紹介予約手続き方法

紹介予約手続きは紹介元の医療機関を通じて行って頂きますようお願い致します。

- 1 診察予約申込書に必要事項をご記入のうえ、地域連携課までFAXをお願い致します。
- 2 患者さまのご希望の日時で予約をとり、「診療予約日時のご通知」をFAXにて返信させて頂きます。
- 3 患者さまに予約日時等をご説明頂き、診察予約日時のご通知書・紹介状をお渡し下さい。



地域連携課 直通TEL:072-366-0257 FAX:072-365-7161

緊急患者紹介方法について

代表	直ちに専門医療が必要な症例、 病院事務から専門医に電話回送	072-366-0221
救命救急センター (24時間体制)	重度外傷・重症疾患、中毒・熱傷、 その他の高度な救急医療	072-366-0250
脳卒中コール	脳卒中（発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、 急性頭痛を呈する軽症から重症の患者）、 くも膜下出血、脳腫瘍又はその疑い	072-366-0920
ハートコール	狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、 大動脈解離又はその疑いなどの重症循環器疾患	0120-145-810
周産期コール	産科救急（母体救急、胎児救急）、婦人科救急	072-366-0133

緊急時要請出動ドクターカーシステム

循環器疾患患者さまで緊急治療を要する場合、医療機関からの要請（相談）に応じ、医師がドクターカーに同乗し、患者さまをお迎えにあがります。

ハートコール心臓血管センター	0120-145-810
心臓血管外科	072-366-0221（内線3138）

近大病院 地域連携広報誌

KINDAI CARELINK ケアリンク



INDEX	1	ごあいさつ
	2	診療科からの活動報告
		●循環器内科
		●脳神経外科
		●整形外科
		●上部消化管外科
	3	連携医登録について
	4	紹介予約手段方法



KINDAI CARELINK

近大ケアリンク

ごあいさつ

拝啓 師走の候、皆様方には益々ご多忙の毎日を過ごされていることと拝察申し上げます。また、平素より近畿大学医学部附属病院を中心とした地域医療連携に多大なるご協力を頂き、心よりお礼を申し上げます。

この度、附属病院では各診療科の活動内容を取り上げ「KINDAI CARELINK」を刊行する運びとなりました。附属病院では地域の患者様が安心して受診して頂けますよう診療内容の充実を図ると共に、患者様の安全を最優先としながらも、より良い診療技術の提供に取り組んでおります。また、患者様の満足度向上のため、医師、看護師、技術職員、事務職員が一丸となって改善を続けております。この地域連携広報誌が地域の医療関係者全てのお役に立ち、さらなる地域連携の発展の一助となりますことを心より願っております。

最後になりましたが、皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈りいたしております。

敬具

平成29年12月吉日

近畿大学医学部附属病院
病院長 東田有智
副病院長(地域連携外来担当) 赤木将男

循環器内科

困った症例があれば、迷わず24時間365日体制の ハートコールまでご連絡下さい！

当院循環器内科は、虚血性心疾患、不整脈、心不全、弁膜症、高血圧症、末梢動脈疾患、肺高血圧とすべての心臓・血管病の専門診療を行っております。

【迅速で高度な循環器救急医療の提供】

24時間365日体制で循環器内科、心臓血管外科医師が院内で待機しており、ハートコール(図1)といった医師直通のホットラインシステムを利用することで、一刻一秒を争う患者さんに速やかに対応できる体制を整えております。また、他病院からの搬送依頼に対してもドクターカーにより医師同乗のもとすぐにお伺いし、患者さんの救急搬送に対応するようにしております。心臓血管撮影装置に関しても2台が併設されており緊急治療を要するような急性心筋梗塞の患者さんの搬送が重なった場合にも、すぐに対応を行い再灌流までの時間を短縮するように心がけております。

【高度最先端医療の提供】

重症心不全、心肺蘇生後などで循環補助装置による高度で専門的な治療が必要な場合

は、循環器の専門医が迅速に対応し、看護師、臨床工学技士、検査技師、放射線技師など多くの専門職がチームとなり治療にあたることにより、より高度で安全な医療を提供しております。また、高齢化に伴い増加傾向にある重症大動脈弁狭窄症に対しても、これまでは高齢などの理由で手術をあきらめていた患者さまも多くおりましたが、2017年4月から、低侵襲である経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)(図2)が施行可能となっており、当科、心臓血管外科、麻酔科、その他コメディカルが連携を取りハートチームとしてそれぞれの患者さまに最適な治療法を検討し、提供することを目指しております。

循環器疾患全ての領域におけるプロフェッショナルが在籍しており、南大阪での地域医療に貢献出来ればと考えております。今後ともご紹介のほど何卒宜しくお願い致します。



図1

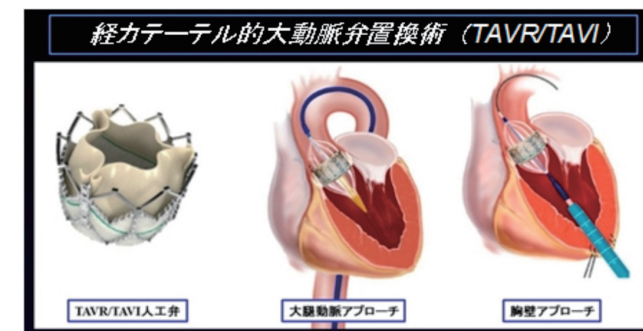


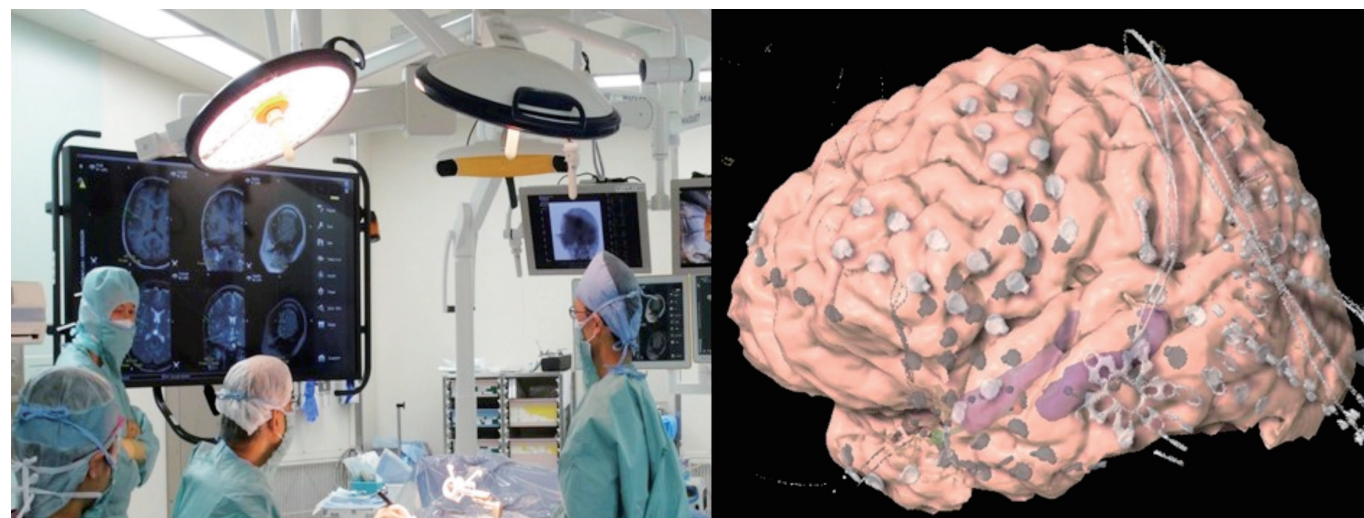
図2

脳卒中センター・難治てんかんセンターについて

脳神経外科診療の対象は、国民病とも言える脳卒中（脳血管性障害）や脳神経外傷などの救急疾患、脳腫瘍に加え、てんかん・パーキンソン病・三叉神経痛・顔面けいれん等の機能的疾患、小児疾患、脊髄・脊椎・末梢神経疾患などです。当院は、脳卒中センター・難治てんかんセンターを有し、がん治療認定施設であり、南大阪唯一の大学病院として高度な治療を行っております。脳卒中センターは緊急性の高い疾患も多く、主幹動脈閉塞による脳梗塞に対しては、t-PA静注療法やカテーテルを使用した血栓回収術を行っております。また脳動脈瘤に対しては、開頭手術、血管内カテーテル治療のどちらにも対応しています。バイパス術の併用やステントコイルが必要な大型・巨大動脈瘤に対しても治療を行っております。脳腫瘍に対しては、脳機能マッピングや覚醒手術を行い、放射線・化学療法を含めた集学的治療を行っております。下垂体腫瘍に対しては内視鏡を用いた手術を行っております。

難治てんかんセンターは、脳波持続モニタリングを行っててんかんの診断を行っております。てんかんに対する薬物療法だけでなく、適応と診断したものは開頭手術や迷走神経刺激術を行っております。

より安全で確実な治療を常に心がけております。



肩関節専門外来を開始しました！

肩関節外来
毎週月曜日

肩関節は若いスポーツマンからお年寄りまで痛みや機能障害の多い関節です。保存的治療により症状が改善するものも多いですが、治療抵抗性のものでは手術加療で改善の可能性があります。主な手術対象疾患には下記のものが挙げられます。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 肩腱板断裂(非外傷性を含む) | 5. 石灰性腱炎 |
| 2. インピンジメント症候群 | 6. 上腕二頭筋長頭腱炎 |
| 3. 反復性肩関節脱臼 | 7. 肩不安定症 |
| 4. 凍結肩(重症の五十肩) | 8. 変形性肩関節症、変形性肩鎖関節症 |

しかし、肩関節は疼痛の原因を同定することが比較的難しい分野でもあり、専門的な身体診察を要する症例も良く見受けられます。また、診断には超音波ガイド下キシロカインテストが有用です。石灰性腱炎に対して、超音波ガイド下溶解・吸引も行っております。手術は肩関節鏡を用いる低侵襲手術が中心です。良好な成績を収めるには、術前・術後のリハビリテーションが欠かせません。特に、術前リハビリは紹介元で行っていただくことも多く、密接な地域連携を心がけております。

原因不明の肩痛から手術症例まで、幅広く対応させていただきますので、是非、当科の肩専門外来へご紹介ください。

中川晃一先生のプロフィール 平成18年近畿大学医学部卒業、医学博士。大学院卒業後、3年間市立岸和田市民病院で活躍。4月から半年間、大阪日赤病院で肩関節外科を学び、この9月から専門外来を開始。今後の活躍が期待される。



“より低侵襲”から“高難度への挑戦”に至るまで

当院にご紹介頂きました食道癌・胃癌の症例は、外科、消化器内科、腫瘍内科、放射線治療科によるCancer board（毎週月曜日開催）で合議の基に最適の治療を検討し、診療科間の密な連携で迅速な治療の提供を行なっています。

【食道癌】

手術は最もハイリスクな術式です。豊富な症例経験で培われたチーム医療体制により、南大阪唯一の食道外科専門医認定施設として安全かつ質の高い治療の提供を心がけています。

頸部食道癌：

喉頭合併切除が標準術式ですが、「声を残して癌を治す」を目指し、強度変調化学放射線治療(IMRT)と独自に考案した術式を駆使して約半数例で声を残すことに成功しています。

高度進行食道癌：

他臓器浸潤例や頸胸境界部の進行癌で切除不能または困難と診断された症例も、実は切除可能あるいは治療が奏効すれば根治切除可能である症例は少なくありません。私たちは、化学放射線療法後のサルベージ手術や最新のDCF(DTX+CDDP+5FU)療法による術前化学療法を用いて積極的に治療を行なっています。

上記の症例以外にも、治療抵抗例や術後合併症で対応に苦慮している症例も数多く相談を受け、当院で治療を施行しています。毎日(月～土)専門担当医が外来を担当していますので、地域連携を通じていつでもご紹介頂ければ、迅速に検査を行い、治療をさせていただきます。南大阪での“癌治療または手術難民ゼロ”を目指し、最後の砦の病院として努力していきたいと思ひます。

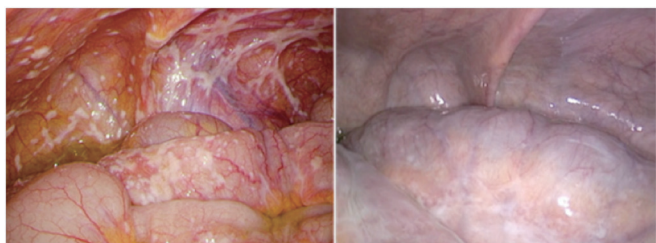
【胃癌】

ロボット支援手術：

いよいよ早期胃癌に対しda Vinci Surgical Systemを使用した胃切除術の臨床実施を開始します。ただし、保険適応外ですので、現時点では医療費全額を病院公費で行うことになります。

腹膜転移への挑戦：

審査腹腔鏡により、腹膜再発高危険群の漿膜浸潤陽性胃癌には術前化学放射線療法を、既に腹膜転移陽性の症例には腹腔内化学療法を先進医療で行い、積極的にこの難治癌に取り組んでいます。腹膜転移が消失した手術例も多く、期待される治療です。



連携医登録について

地域の医療機関との機能分担を図り、信頼関係のある質の高い病診・病病連携を推進することを目的とした連携医登録の主旨にご賛同いただける場合は、連携医登録させていただきます。

ICTを利用した地域医療連携ネットワークシステムについて

概要

地域の医療機関をつなぐ連携ネットワークを構築することにより、診療情報(カルテ情報、画像、レポート等)の共有が可能になります。
(近畿大学医学部附属病院・堺病院)

情報提供施設(近大)は、「SS-MIX2標準ストレージ」にデータを出力し、地域連携サーバを経由して連携先の医療機関に診療情報を公開(24時間情報閲覧可)

※SS-MIX2標準化(及び拡張)ストレージへのデータ出力は多くのベンダが対応済の標準化技術(SS-MIX:厚生労働省電子的診療情報推進事業)

セキュリティについて

情報参照施設や情報提供施設とデータセンター間はIPSec-VPNを利用して高度なセキュリティが確保された通信網を使用。

情報参照施設側に必要なもの

インターネットに接続できるパソコンが1台あれば、地域医療システムをご利用いただけます。

【パソコンの環境条件】

- ① Internet Explorer6.0～11.0が動作すること。
- ② OSのVPN設定を行うこと。
(VPN(Virtual Private Network)とは、インターネットに接続されている利用者の間に、仮想的な通信トンネルを構成したプライベートなネットワーク。通信経路を認証や暗号化を用いて保護することにより、第三者が侵入することのできない、安全なネットワークです。)
- ③ ウイルス対策の実施やWinnyなどのファイル共有ソフトを削除すること。

情報参照していただけるもの

- 患者基本情報 ●病名 ●処方歴 ●検歴 ●各種オーダ情報 ●医師の記載
- 看護記録 ●サマリー ●経過表 ●画像情報 ●各種レポート

その他

- ・当院へ通院歴のある患者から同意(別添)をとっていただき、同意書を近大の地域連携課までFAXしていただくと、すぐにその患者の情報を公開いたします。
- ・施設基準に適合しているとして近畿厚生局へ届出されますと、「電子的診療情報評価料」として30点算定していただけます。
(診療情報提供料(Ⅰ)を算定する他の保険医療機関からの1回の診療情報提供に対し1回のみ)

ご希望される医療機関は、地域連携課までお申し出ください。